

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 1 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	管理者、職員は話し合い、従来の理念に、グループホームの主旨で有る地域密着[地域に寝ざす]を織り込み、皆さんで共有し、実践されることが望まれます。	地域に密着したグループホームを目指す。	職員に対して、グループホームの主旨である地域密着を再度認識してもらい、地域の方々には行事毎の声かけ、ご案内をし、当苑への認識度を高めていく様に努力する。	12ヶ月
2	4	施設運営上無理のない程度で定期的で開催し、従来の議題に加え、外部評価の報告と課題の改善状況・認知症とその対応の説明・インフルエンザ対策等について話し合い、サービス向上に努める事が望まれます。	サービスの向上に向けた運営推進会議であるようにし、議題も外部評価の報告課題に取り組む。	施設運営を重視しながら、定期的で開催し、議題についても外部評価の課題を取り入れ、その時点での世間の状況への対応、また、説明を行う様に努力する。	12ヶ月
3	35	消防署を呼んでの訓練と、夜間想定(近くの職員が駆けつけたり、近所の理解者に参加を促す)の自主訓練との年2回の訓練の実施、及び備蓄品の見直しを行い3日分程度備えておくこと、が望まれます。	訓練内容の見直しと備蓄品の備えの取り組み。	訓練内容に夜間想定を取り入れ、実際に即した方法を考え行う。 備蓄品は3日程度備え、品物について検討する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。